



No.188

心臓財団 季報

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○Tel 03-3201-0810 ○Fax 03-3213-3920 ○e-mail:info@jhf.or.jp ○http://www.jhf.or.jp/

September 10, 2007

2007年 世界ハートの日

チームワークで健康ハート!

心臓病と脳卒中が全世界で最も重大な死亡原因になっており、これらの疾患を予防することが大切であると、世界中の人々に呼びかけることを目的に、世界心臓連合は9月の最終日曜日を「世界ハートの日」としています。

今年は9月30日が「世界ハートの日」であり、この日を中心に、世界各地で心臓病予防キャンペーンが開催されます。

今年のテーマは、「チームワークで健康ハート! (Team Up for Healthy Heart!)」です。家族や地域社会、職場、学校などが協力して、心臓病や脳卒中を予防し、健康で長生きするために、よりよい生活習慣づくりを考えましょう、実行しましょう、という提案を掲げました。

日本でも、日本心臓財団が中心となって、さまざまなキャンペーン活動を考えています。

「世界ハートの日」プレスセミナー (メディア向け)

チームワークで健康ハート!

一考えよう、実行しよう、家族の健康、
コミュニティの健康—

日時：9月13日(木) 13時~15時
場所：東京・大手町 KDDIホール
プログラム：

○はじめに—世界ハートの日の意義：

Increase Public Awareness

篠山 重威 (日本心臓財団常任理事)

○データが語る、健康家族の食事の秘訣

由田 克士 (国立健康・栄養研究所)

○高齢者の筋力アップ! 踊るイッチョライ・ダンベ
ラーズ

柳田 昌彦 (福井県立大学看護福祉学部)

○無煙環境をつくろう! 世界の常識、日本の非常識

大島 明 (大阪府立成人病センター)

○総合討論 (質疑応答)

司会：上島 弘嗣 (滋賀医科大学社会医学)

回答者：由田 克士、柳田 昌彦、大島 明、
篠山 重威

世界ハートの日記念「心臓病を知るつどい」(一般市民向け)

日時：9月15日(土)13時~16時

会場：愛知・一宮市民会館

プログラム：

〈講演〉

○心臓病突然死

清水 武 (愛知県立循環器呼吸器病センター)

○最近の心臓手術—心臓手術は恐くない

松浦 昭雄 (愛知県立循環器呼吸器病センター)

〈検診〉 血圧測定、血液検査、心電図、血管年齢測定

〈講習〉 心肺蘇生法とAEDの使い方

その他、心臓病相談、栄養教室、リハビリ相談、お薬相談など

世界ハートの日キャンペーン (一般市民向け)

腹囲測定メジャーとパンフレットを各地で配布予定。

期 日：9月30日(日)

場所(予定)：フクダ電子アリーナ、埼玉スタジアム、
大阪・枚方市駅前



2007年 ハートの日・健康フェア ～東京・丸の内オアゾ

「8月10日は健康ハートの日」にちなんで、東京会場では、毎年8月10日に最も近い日曜日、「ハートの日・健康フェア」を開催しています。

2年間、巣鴨のとげぬき地藏尊・高岩寺境内において、ここ4年間は、八重洲地下街センタースポットにおいて、このイベントを続けてきました。

そして今年も、三菱地所株式会社のご好意で、8月5日(日)丸の内オアゾ〇〇(オオ)広場に会場を移して行いました。

初めての会場は、緊張します。人通りはあるかしら？なにか見落としていることがないかしら？そんな中、開始の10時が近づきます。「まだですか？」そんな質問が届くようになり、そして、受付に小さな行列が並びました(心の中で“よかった”と叫びます)。

このイベントは、大勢の皆様の協力で行われています。オムロンコーリン株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、フクダ電子株式会社から、機械の提供と、その機械を扱う技術者の方々が大勢協力してくださいました。そして、循環器のドクターが、忙しい中、1日中熱心に健康相談をしてくださいました。本当に感謝に尽きます。

同じイベントを何年も続けていると、医療機器の進歩を感じることができます。今年は、体脂肪計がなんだかすごかった。靴下を脱いで、器具を扱うだけで、なんと、体脂肪率だけでなく、骨格筋率も皮下脂肪率も計れ、そして基礎代謝、体年齢等も表示されるようになっていました。(すごい…)

今回の私的な感動！5年前に指先で計る血管推定年齢測定において、63歳が出ました。丈夫だけがとりえの私だったので、そのショックはどんなに大きかった

ことか、「個人差があるんですよ」「あてにはなりませんよ、推定だから」いろんな慰めの言葉を聞きながらも、運動不足の自覚もあり、その後は怖くて計ることから遠ざかっていました。

それが今年も、血管推定年齢測定の前が空いていて、ふと「そういえば、ヨガを始めて1年以上経つんだなあ。そうだ！ちょっと計ってみよう」と思いつき、久しぶりに計ってみたのです。

その結果、約半分の32歳！うれしくてうれしくて、杉本恒明副会長に、つい報告をしてしまい、「ヨガは自律神経を整えるのにとってもいいんだよ。」そう優しく声をかけてくださいました。

そして好評の健康相談。

毎年、ドクターの丁寧な説明振りは感謝に尽きますが、年々、一人一人の健康相談の時間が長くなっているような気がします。ドクターの傾聴力もさることながら、一般の方々の質問力も上がっているのだろうと感心しました。

健康ハートのイベントは、日頃、事務所の中で、循環器における啓発を考え実行している私たち事務局員にとって、一般の人々と直に触れ合い、ニーズを肌で感じ取るという目的もあります。参加していただいた皆様の来年も来たいという満足の表情や、健康相談はいいという若い人たちの姿、いただいたアンケートなど、今後の財団事業に参考になるたくさんの学びもいただきました。

暑い中、足を運んでくださいましたご来場の皆様、協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

(日本心臓財団事務局スタッフ)



第8回 ハートの日～豊橋

8月10日の「健康ハートの日」、豊橋では恒例の「第8回ハートの日」イベントがホテル日航豊橋で開かれました。このイベントは、豊橋ハートセンターの医師やスタッフが中心となって毎年行われるもので、今年も「よい油で心臓病を予防しましょう!」「心臓の突然死を救う!」という二つのテーマを中心に、さまざまな講演や健診、心臓病や歯周病、食事・栄養の相談コーナーなどが行われ、千人以上の市民が参加して盛大なものになりました。

今年は阿川佐和子さんをゲストに迎え、午前中はAED(自動体外式除細動器)の使い方を実際に体験していただきました。彼女の軽妙なおしゃべりと講師に対する率直な質問が、市民にとってもわかりやすい講習になったと思います。

また、午後は「医師(プロ)の利用法」と題し、阿川さんを進行役に医療ジャーナリストの伊藤隼人氏、心臓

外科医の南淵明宏氏、米田正始氏、大川育秀氏が、プロフェッショナルな医師の見分け方と上手な診察の受け方について、トークバトルを繰り広げました。

そのほか、金城学院大学の奥山治美氏によるコレステロールに関する講演や、豊橋少年少女合唱団によるコンサートなど、さまざまな催しに、市民のハートに残る一日になったようです。



健康ハート週間 2007～鹿児島

鹿児島市では、「あなたの健康ハート総点検」と題して、12日(日)には山形屋デパートで血圧測定や心電図測定などの健診コーナー、栄養士会による健康食生活実践コーナー、タバコの悩み相談コーナーなどが行われました。

また、10日(金)の夜には、ベイサイドガーデンにて毎年恒例の「ヘルシーディナーの夕べ(会費:3000円)」が開催され、140名の方々が健康によく美味しい料理と鹿児島フィルハーモニーによるアンサンブル演奏を満喫されました。



●2007年「ハートの日・健康フェア」アンケート結果●

今年の東京・丸の内でのイベントには約300名の方にご来場いただき、191名の方がアンケートにご回答くださいました。

今日のイベントを何で知りましたか、という質問には、日経新聞が30名、オアゾ・丸の内関連ホームページが22名、広報千代田が13名いらっしゃいましたが、通りすがりの方が83名と半数近くを占め、場所は変われど東京では今年で6回目を迎えるイベントも、「このようなイベントを知らなかった」「ぜひ来年も来たい」「知らせしてほしい」という声も多く、まだまだ広報活動が足りないかと悔やむ反

面、通りすがりの多くの人に満足感を得ていただいたことに喜びを覚えました。

日本心臓財団のことを初めて知ったという方が133名おられ、約70%の方に、このイベントを通して当財団のことを知っていただいたことは、このイベントの大きな意義でした。

驚いたことは、AEDに関する回答をいただいた167名では、初めて知った人が37名、前から知っているが使い方は知らなかった人が92名、講習を受けたことがある人が35名、その他3名となっており、多くの方が通りすがりにもかかわらず、

講習を受けた方が多かったことです。救命機器であるAEDの認知度が高くなっていることがわかりました。

いただいたご意見では、動脈硬化度の検査の待ち時間が長かったことや、マンキュアのせいで血管年齢が測定できなかったことなど、来年に向けての反省点もいただきましたが、そのようなご意見をいただいた方も含め、多くの来場者によりイベントであったというご感想をいただきました。

このアンケート結果を参考に、来年以降もますます充実していきたいと思ひます。

ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2007年6月～8月29日)

足達 新	寿 博次	江頭 遠藤	健輔 勝男	片見 勝村	初江 達喜	久家 楠岡	英子 英雄	杉澤 和	美 恒明	豊嶋 永井	英明 良三	東 樋口	あかね 公啓	村上 村川	政男 裕二
安孫子 保	圭志	遠藤 政夫	尉義	加藤 加藤	逸夫 貴雄	楠川 久保田	禮造 徹	源次郎 常雄	鈴木 典夫	長澤 中野	一成 越	平井 平岡	忠和 昌和	村田 村山	和彦 正博
阿部 圭志	眞	大内 眞一郎	眞彦	加藤 金丸	貴雄 憲司	甲谷 古賀	哲郎 義則	鈴木 幸蔵	須磨 彰一	永野 仲村	英一 治雄	日和 邦男	健一 邦男	室原 望月	豊明 茂
有馬 久富	當男	大島 文雄	俊輔	加納 鎌倉	達二 史郎	小島 後藤	浩 紘司	千田 高木	彰一 宏	中村 中谷	治雄 晴昭	福慶 福田	圭介 孝太郎	安井 安井	健二 昭二
石井 幸治	俊	大槻 外志隆	憲司	唐澤 河合	祥人 忠一	後藤 小松	又三 晴茂	高野 田上	照夫 慶子	中谷 西村	晴昭 重敬	福田 細田	孝太郎 瑳一	安井 泰江	弘文 尚士
石橋 正	徹	大和田 修	修	川崎 川崎	富作 志明	後藤 小柳	仁 知浩	高本 瀧下	眞一 修一	西村 野村	重敬 邦武	細田 松浦	清士 秀夫	矢永 矢吹	義男 壯
市川 一色	高明	岡田 幾太郎	了三	川田 川田	治義 正敏	坂本 坂本	和子 友英	竹越 武田	信彬 繁道	野村 敬太郎	邦武 卓三	松浦 松岡	博昭 暉	山口 山下	巖 武志
伊藤 七郎	隆之	岡本 登	勝	河村 上松瀬	勝男 和子	佐藤 佐藤	皓 正一	田中 田中	元直 興一	羽野 馬場	源一郎 俊六	松田 松永	正人 万夫	山村 山本	憲章 雄祐
伊藤 隆之	博	小川 和郎	謙	菊田 菊池	健次郎 浩	佐藤 猿田	享男 託爾	谷口 塚本	宏 幸臣	馬場 早川	弘一 輝美	松本 三浦	宏 傳	山本 吉村	幸男 道博
井上 今村	聡	奥村 健二	高將	岸田 北畠	顯 恭輔	志立 柴田	仁太郎 和幸	塚本 道場	幸臣 信孝	林 早野	輝美 元信	三浦 三迺	信一 治浪	渡辺 渡部	滋 務
岩崎 上島	弘嗣	小澤 利男	照雄	木下 木之下	正彦 和雄	島田 島本	和明 宏明	戸嶋 友池	裕徳 仁暢	早野 原田	元信 久美子	宮崎 宮下	英夫 春樹	他匿名17名	良夫
上田 打田	俊司	尾本 良三	長雄	木村 木村	玄次郎	白土	邦男	外山 淳治	比江嶋 一昌	武者					

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2007年5月～2007年8月)

村上 勝彦 様	愛知県名古屋	7,600円
石橋 清三 様	茨城県水戸市	50,000円
The Knight Family 様	イギリス	33,100円
株式会社東横イン 様	東京都大田区	100,000円
佐川 清 様	茨城県常陸太田市	10,000円
匿名		200,000円
匿名		300,000円

心臓財団からのお願い

～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団

平岩外四会長逝去

当財団の平岩外四会長は、本年5月22日、心不全のため逝去されました。92歳でした。

1914年、愛知県常滑市の出身で、1939年東京帝国大学法学部をご卒業になり、東京電力の前身の東京電灯に入社され、76年に社長就任、84年に会長、93年に相談役、02年に顧問にられました。また1990年から94年まで経団連会長を務められるなど数多くの要職に就かれていました。

当財団には1977年、理事に就任され、96年からこれまで11年間会長を務められました。経済界を代表され、30年という長いあいだ大所高所より当財団を見守り、リードしていただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

後任の会長には志立託爾理事長が兼任することになりました。

